



2月 クレヨン あんずぐみ

寒い日が続いているですが、子どもたちは元気いっぱい園庭で体を動かして楽しく遊んでいます。さみしいもので、あんず組での生活もあと一か月余りとなりました。残りの時間も、楽しく過ごせるように見守っていきたいと思います。

4月の進級・新入当初の子どもたちから比べ、言葉が増え様々な面で成長してきた子どもたち。今月は、言葉についてお話していきたいと思います。

●言葉の獲得について

子どもたちそれぞれの発達段階に応じて絵カードや写真、おもちゃなどを見ながら具体的に伝えるようにしています。見ているものの形や色、個数、大きい・小さいなど、そのものを指さしながら「緑色の電車だね」「赤くて四角い積み木が1…2…3個あるね」「赤い積み木のほうが高いね」と具体的な言葉で伝えることで、子どもたちも一緒に数えてみたり、大人やお友達と一緒に真似をしたり言葉にして楽しんでいる姿も見られます。

また、「車がブーンって通ったね、速いね。」「黒いカラスがカーカーって鳴いているね。空に飛んで行ったね。」など…『聴覚』や『感覚』『感触』のような目には見えない体で感じるようなこともあえて詳しく言葉にすることで、子ども達も「あれがカラスなんだ」「あれが車なんだ」と経験とともに言葉の理解や語彙が増えていくことに繋がります。

絵本で読んだものや、物や事象と『言葉』が一致すると、「この言葉ってこんな感じなんだ」と増え子どもたちの世界も広がっていきます。

今までは大人が気持ちを代弁することが多かったのですが、今では少しずつ自分の思いや考えを言葉にして伝えてくれることも増えてきました。積み木コーナーやままごとコーナーなどでは、発想を友達と一緒に共有して設定を楽しむ「ごっこ遊び」や経験を再現する「再現遊び」を友達と一緒にしている姿も見られるようになり、「入れて」「一緒にあそぼう」など言葉で説明したり、気持ちのすれ違いで「一緒にやりたかったの」「自分でやりたいの」と大人に気持ちを話したり「終わったら貸すね」など、思いや理由も言葉にして相手に伝えるようになってきました。言葉の語彙の使い分けが少しずつ出来てきているなあと感心します。これからも子ども達の思いを受け止めて、安心して取り組めるようにしていきたいと思います。



●お知らせ●

2月21日（土）に保護者会を予定しております。よろしくお願いいたします。